

活動紹介

宇野

令和5年度に入りコロナも緩和され活動を再開しました。「三世代交流フェスタ」でおでん作りと販売、日帰り研修で真庭市のバイオマス発電所の見学、赤い羽根街頭募金活動、1人暮らしの高齢者に手作り赤飯（約350食）の配食サービス、学区の防災訓練にも参加しました。今後もいろいろな活動を通して地域とのつながりを大切にしていきたいと思います。



財田

令和5年4月から放課後に子ども達の居場所として「たからっ子ひろば」が始まりました。月に1回、第3水曜日から午後3時から5時まで財田コミュニティハウスで開催しています。会場では、学校の宿題や自分のやりたい遊び等を行って過ごしています。参加人数は、まだ少ないですが、今後は参加人数が増えるように周知活動をして行きたいです。



竜之口

いつもの活動に加え、最近では子ども虐待が無くなることを願い「オレンジリボン」を作成し、保育園・幼稚園・小・中学校に配布しました。また、岡山中央警察署の方と合同で「特殊詐欺」に対する防犯のピラを配布しました。1月には「竜之口のいいところ語る会」を中学校一年生を対象に実施しました。これからの住み心地の良い地域に行きたいと思えます。

旭東

7月から「旭東小学校あいさつ運動」に参加しています。



旭東小学校計画委員会の児童が主体となって、児童やPTAの保護者の方と一緒に、2か所ある校門の前に立って「おはようございます」と声をかけ、登校の様子を見守っています。子どもたちと顔を合わせ、元気な声が聞けて嬉しく思います。

旭操

今回の改選は、当初2名欠員の厳しいものでしたが、各関係者の協力により6月には充足され、12名での活動が開始されました。コロナ感染症が5類となり制限解除もされ、老人保健施設から管理栄養士・作業療法士を講師に迎えての合同研修会開催や、高齢者一人暮らし配食事業・敬老会も再開され、平常に戻ってきています。



操明

令和4年12月に地域の有志、民児協、社協の3者で立ち上げた「操明みんなの食堂」が令和5年12月で13回目を迎え、子どもたち、保護者、ボランティアの累計参加者が700名を超えました。運営資金等には苦労もありますが、地域の人々や企業の協力で毎回美味しい食事やイベントを楽しんでいます。これからも世代を超えた地域交流の場として関係者一同頑張っていきたいです。

操南

地区社協・愛育・自主防災・民生による操南支え合いの会は、児童の登校見守りを行ってくださる人も増え、今後の事業に取り組んでいる最中です。愛育委員の皆さんと幼稚園に対してのボランティアも再開し、やんちゃな園児を相手に奮闘しています。また、高齢者の配食が再開され地区社協・愛育委員・民生委員の3団体協力のもと無事行えました。

高島

高島地区民児協は、今年度、神戸市の阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」の視察研修を行いました。その中で、「自然災害を防ぐことはできないが、災害を減災することはできる」という言葉が胸に響きました。それには各人の意識・取り組みが重要です。地域の方々との繋がりや協力により減災に努めたいと思います。



幡多

4年ぶりに第119回幡多学区敬老会が学区社会福祉協議会、婦人会の共催にて開催されました。77歳以上の213名（該当者2047名）の方及び来賓、町内会長、スタッフ（民生委員含む）約100名の参加がありました。幼稚園児の肩たたき、小学生の合唱、幡多クラブのけん玉競技、竜操中学校吹奏楽部の演奏と、多くのアトラクションが行われ、昼食をはさみ約2時間半楽しく催されました。



平井

11月に広島市豪雨災害伝承館を視察しました。2014年8月8日未明に発生し、多くの犠牲者を出した土砂災害の記憶や教訓を継承するために2023年、被災地に開館しました。周辺は復興が進み、防砂堰堤工事や広い避難道路等が整備され、館内ではCG映像やパネルで土砂災害の怖さや備えのポイントを知り、防災・減災について学習できる場になっています。日頃から家族で災害が起きた時の行動を話し合っておくことや地域のコミュニケーションの大切さを確認した視察でした。



三勲

恒例の年末友愛訪問を12月に行いました。菓子に、三勲小学校の生徒からのおじいさま・おばあさま宛の手紙を添えて、高齢の一人暮らし、ご夫婦などのお宅を訪問しています。中でも子どもたちからの手紙は「嬉しいわ！ずっと待っていたのよ」と喜ばれます。また、「あんしんカプセル」を説明し、困りごとをお聞きして、「お互いまたよい年を迎えましょうね」と声をかけて次に向かいます。



旭竜

入居から50年を超える市営住宅高島団地を抱える当地区は中区福祉区内ナンバー1の高齢化率となっております。独り暮らし高齢者への配食サービス、最近では認知症カフェへの支援をしております。また、令和2年よりスタートした「旭竜助け合い隊」の活動は年間1,200件を超えており、やっとの思いで対応しております。



富山

法人募金協力のお願いに学区の企業を訪問し、歳末募金では2日間で2ヶ所のスーパーに立ちました。学区の皆さんの温かいご厚意を感じました。文化まつりでは民児協のパネルを掲げ、働きの紹介をしました。若い中間の発想と行動力には富山民児協の未来の明るさが思われました。

